

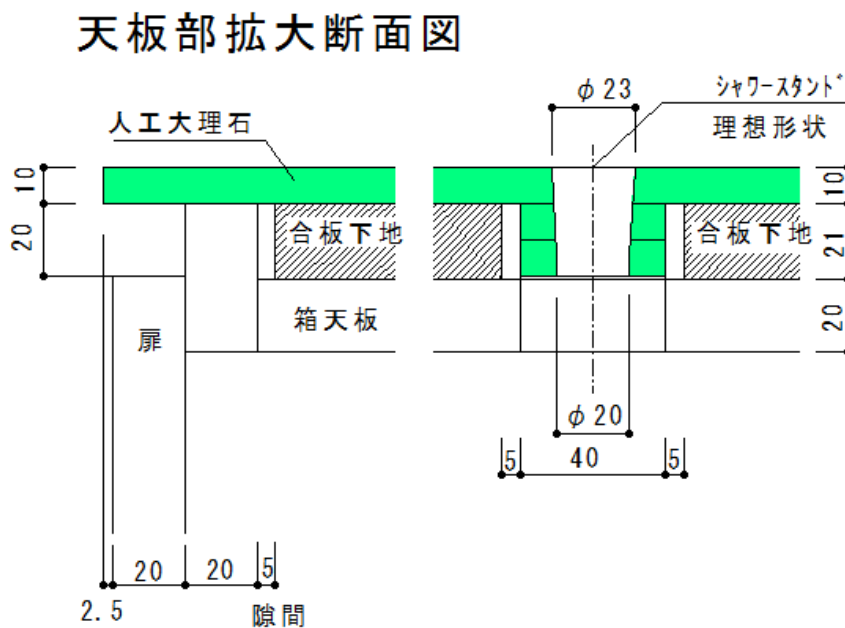
シャワーヘッドが人工大理石の天板にセットされた洗面台の製作について

今回の依頼は棒状シャワーヘッドが人工大理石天板に立って配置できる構造を要望されました。この棒状シャワーヘッドの天板への差込みセットは 2 回目ですが、シャワーヘッドメーカーの違いで形状が異なり、前回の方式では、困難でサンプルモデルを製作し、検証することになりました。



前回のシャワーヘッドスタンド状況です。
前回はシャワーヘッドの根元が直径に段差が有り、その段差を利用して人工大理石で受けていました。

下図は前回の天板受けの断面図です。



今回使用するハンスグローエ製バトンハンドシャワー28532000 ホース 28286000 です。

そして、今回はシャワーヘッドの根元の直径の段差が無く、天板の穴開けではスタンド受けになりません。そこで、サンプルモデルを製作し、受け方とホースの動き、さらにホースに伝わる水の受け皿を検討することになりました。



洗面台のサンプルでシャワーヘッドの穴位置とシャワーヘッド受けの前後の位置を割り出して、やっと洗面台の細部設計にはいりましたが、ホースの動き等で水受けをどうするかは洗面台を取り付けてから検討することにしました。

今回は天板：人工大理石でボウル一体型
引出前板：ウォールナット突き板
床より浮かせたタイプです。

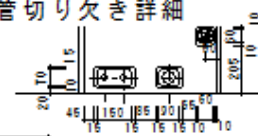
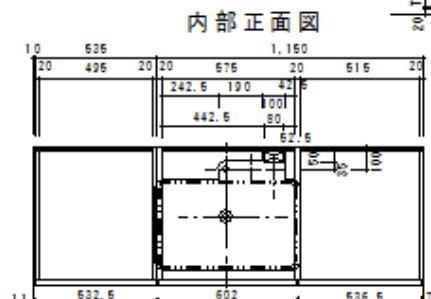
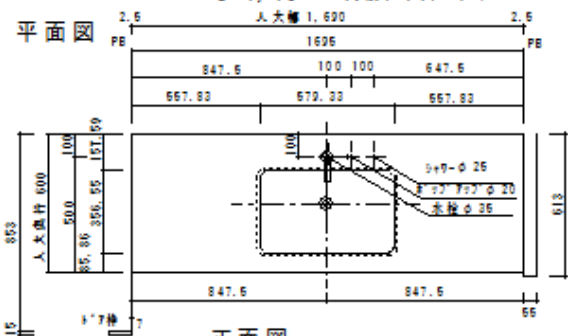
下図が確定図です。

7月5日確定図
2階洗面

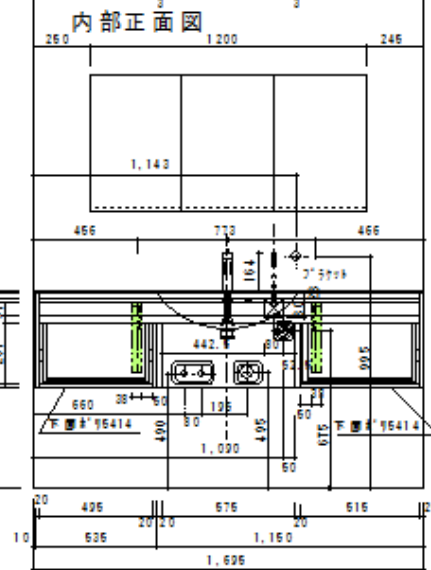
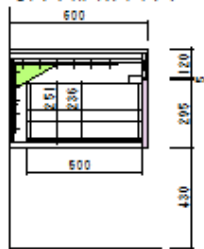
仕様 天板：人工大理石一体型
ボウル：T型 KMBSAGW
FIX.前板：ウォールナット突き板
塗装：ケラール艶消し
内装、下面：FR5414

水栓：ハンスグローエ 10010000
シャワー：28532000+ホース28286000
排水：パイプ INAX LF-550PA

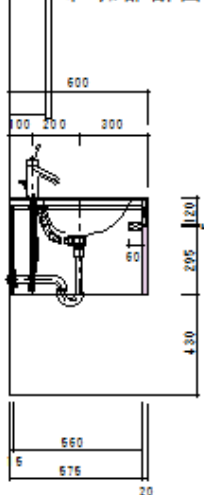
配管切り欠き詳細



引出部断面図



ボウル部断面図



シャワーヘッドのスタンドセットの対応策

シャワーヘッド受け取り付け用板です。板厚で天板穴と受け位置を合わせています。

カクダイのシャワーヘッド受けです。前側にマジックテープにてホースがガイドから外れないように抑えています。ガイドからホースが外れるとシャワーヘッドをセットした時、シャフトに傾きを生じます。



ホースを取り出し、戻す際にスムーズな動きができるように取り付けたガイドです。これによりホースの受け箱への出し入れが、良くなりました。ちなみにこのガイドはエアコンのホース固定バンドです。

ホース受け、ホースを伝わる水の受け皿（箱）は樹脂製のスマートなダストボックスです。

以上によりシャワーヘッドのスタンドセットは対応出来ました。



両サイドは引き出しで、ウォールナット板目突板の綺麗な杢目が通っています。
洗面台は壁固定の他に引き出し内部中央よりでブラケット左右の2本で受けています。



シャワーヘッドのスタンド状況です。スッキリと納まっていますが、ここまでには様々な検討事項がありました。



今回の人工大理石の前垂れが 120mm あり、ボウル一体型の天板に重みを感じ、天板上も、足元もスッキリしたスマートな洗面台となりました。

(株)マルダイ 家具部 Da・monde 鈴木

平成 24 年 9 月 24 日